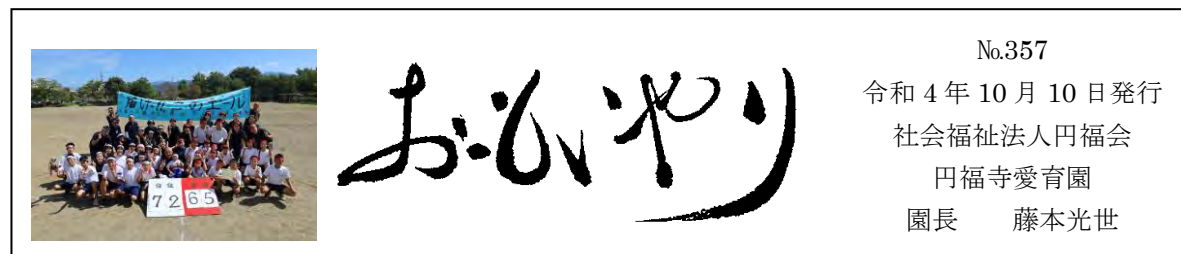


第7回愛育園大運動会を執り行いました。本気×全力で白熱な大会でした。



## 自己実現

園長 藤本光世

運動会は大成功で終わりました。素晴らしい運動会でした。何が素晴らしかったか。全部すばらしかったのです。

テーマは 本気×全力

今年は、三勝三敗の五分の星で迎えた第7回大会でした。本気×全力で石崎主任保育士を大将とした赤組と、富澤主任指導員を大将とした白組が戦いました。本気×全力の戦いです。火花が散っていました。熾烈な戦いでした。玉入れも、綱引きも、竹引きも、その他のマラソンやリレーの走る競技もすべてです。子どもたちも、職員も一生懸命の姿がとっても良かったです。

組体操も、扇子演舞も感動して涙が出ました。

組体操で小学校1年生のH君は、一週間前の総練習ではできなくて泣いていました。それも尋常な泣き方ではないので、とっついてもたいへんです。ところが、本番は最初のダンスから始まって（これまでダンスは出来なかった）、逆立ちも二人技も三人技も、五人技も笑顔でやりつくしました。感動したなあ。他の子も笑顔のやり切った表情が美しかったです。

扇子演舞は今年で三回目です。今年はいくつまでのどれよりも良かったです。ホームページに、掲載しましたので、ご覧になってください。（円福寺愛育園→子どもの近況→動画一覧）

これは本当に凄かった。三週間の練習でこれだけの演舞ができるとは。その指導は富澤主任指導員。凄いです。練習を何度もビデオで撮っていました。きっと、それを子どもたちと共に観て、さらに上を目指したのでしょうね。総練習では細かな指示をたくさん出していました。前日の練習では、脚立の上からビデオで撮っていた。当日は、正面にいて、子どもたちの目と目を行き交わして、演舞の完成を目指していました。私は隣に座っていて、演舞にかける彼の心が伝わってきました。子どもたちは見守られて、安心して自信を持って演技できたと思いました。

このような演舞は、全国のどこの児童養護施設でもできないでしょう。世界中の児童養護施設でもできないでしょう。

長野県はもちろん全国の学校でもできないでしょう。（ちょっと言いすぎかなあ）

このような指導をした富澤主任指導員を中心とした職員集団と、それを受け入れて自ら積極的

に練習に取り組んだ子どもたちに、大拍手です。万々歳です。円福寺愛育園の養育力はここまで高まりました。

職員会の時に富澤主任指導員が言いました。これまで、休みになると子どもたちを川や公園に連れ出して思いっきり遊ばせて心を満たしてあげて来た。運動会はそれと真逆で子どもたちにストレスを与えよう。無理と思われることもやらせてみよう。

でも、子どもたちはストレスどころか、楽しそうにしかも自分から進んで、マラソンの後の何本もの50mダッシュや練習をやったのです。それは、子どもたちが仲良く、明るく、何でも楽しめてしまう、これまでたくさん遊ばせてきたことが基礎にあつてのことだと思います。私も一度マラソンの練習を見ましたが、そのあとのダッシュは楽しそうでした。富澤主任指導員も子どもたちと競争を何本もやっていました。あまりたくさんやっているの、怪我をしてはいけないと止めさせるほどでした。子どもたちと一緒にやる、この姿が子どもたちに伝わって、全員の子も子どもたちがくっついていく、リーダーの姿勢が他の職員に伝わり、同じ方向でがんばり、目標となっていると思いました。

私は、子どもたちに背伸びさせることが好きです。背伸びしないとできない課題を与える。たとえば1年生のH君は、組体操が出来なかった。出来ないとすぐいじけて泣いてしまう。並の泣き方ではないので、みんな困ってしまう。それを励まして、抱っこしてやって、愛着を形成して、言葉が入るようにして、できるようになる。それは、H君にとって真の喜びとなり自信となったでしょう。このような繰り返し、成長となり、それを自己実現というのです。自分ができることに気づく。学校でもこの繰り返しして人は人となっていくと思います。

愛育園でも、これまでよりレベルが高く難しい扇子演舞に挑戦する。できないと思っていたことができる。しかも、年々レベルが向上する。それが子どもたちを変える。職員も変わる。そのような経験の積み重ねが、今の愛育園となったと思っています。

愛育園も自己実現ですね。

自己実現の積み重ねが自信となり、愛着の再形成につながり、心を強くし、学校生活や園の生活に好影響をもたらす、それが子どもたちの自立と幸せにつながると信じています。

愛育園万歳。子どもたち万歳。



## 第7回愛育園運動会

主任指導員 富沢正樹

9月25日、第7回愛育園運動会を行いました。子ども達や先生方の素晴らしい姿がたくさん見られたので、その様子をお伝えできればと思います。

今年の運動会のテーマは『全力×本気』にしました。子ども達が全力を出せて、本気になるようなインパクトのある言葉がないかなあと考えていた折、改めて、それぞれの言葉を辞書で引いてみると、全力は「持っている全ての力」、本気は「偽りではない本当の気持ち」と書いてあり、「ああ、もうこれがそのままテーマだ」と思い、シンプルに「全力」と「本気」をテーマにしました。

子ども達は(先生方も自分も)、本当に素晴らしい力を持っています。でも、色んな理由で出し切れない事もあります。色んな理由というのは、「恥ずかしい」「緊張する」「目立ちたくない」「なんか言われそう」といった自信の無さからくるネガティブなものがほとんどです。そんな状態にいると力を出し切れないどころか、その力が備わっている事すらわからなくなってしまいます。だから、運動会の行事を通して「自分にはこんなも力があつたんだ」と自分たちが持っている力に気づいたり実感したりしてくれたらいいな、、、それが、「全力」に込めた思いでした。そして、そうやって最初は先生方に背中を押されたり、一緒に取り組む中で、いつしか運動会の練習などにのめり込んで行って欲しい、、、それが、「本気」に込めた思いでした。

そんな思いで設定したテーマでしたが、結論からいうと全て私の取り越し苦労でした。3週間前から練習をスタートしたのですが、走る系の競技はもちろん、応援合戦で去年から復活させた難易度の高い扇子演舞(去年とは別バージョン)も、最初から子ども達も先生方も前向き前のめりな練習姿勢で圧倒されました。去年の運動会の経験が一人一人の心にちゃんと刻まれている事を実感しました。私が心配しなくてもちゃんと自分の持っている力を信じているし、人から「やってみよう」と言われる前から自分で「やりたい」と思って取り組む姿は、まさに「偽りではない本当の気持ち」そのものだと思います。

今年は去年以上に素晴らしい運動会になりました。実は、私自身は去年の運動会に全て出し切ってしまった思いがありました。なので、今年の運動会を去年以上のものに押し上げてくれたのは間違いなく子ども達と先生方の一年間の成長の力だと感じています。

あおぞらホームの男の子たちには、運動会までの3週間は普段とちょっとスイッチを変えて、体と心を鍛えるつもりで自分に厳しくトレーニングを積む期間にしてみようと投げかけた所、本当に練習を頑張っていました。ただ私は競争心も含めて、個人で黙々と練習する子ども達をイメージしていたのですが、そうはならず、小学生から高校生まで、いつもみんなが集まってワイワイガヤガヤ楽しそうに練習をしていました。あまりの仲の良さに、「イメージとは違ったけど、こっちの光景の方がもっと良いな」と思いました。また、扇子演舞でセンターポジションを数名

選ぶ際に、子ども達に一通り声をかけたら、いつも「空気を壊さない程度には参加する」と「最前列には立ちたくないけど後ろからモノは言いたい」で有名な中3のY君が名乗りをあげてくれました。すっごく驚きました。ホントにちゃんとやるのかな？と少々心配しましたが、一生懸命頑張ってくれました。自信の無さから、人目を気にし過ぎたり、人を腐すことの多かったY君からすると本当に大きな進展だったと思います。

まごころホームの女の子達も良い姿がたくさんありました。応援合戦の資料動画を初めて見せて練習開始まで3、4日間があったのですが、みんな「早くやりたい、早くやりたい」とウズウズしていると主任保育士の石崎先生が教えてくれました。とても前向きだと思います。また、扇子演舞は足を開いて中腰の姿勢をキープする事が多いのですが、女の子は恥ずかしさから去年はこの姿勢ができるまでに結構苦労したのですが、今年は最初から腰を低くまで落としてめちゃくちゃカッコいい姿勢からスタートできていました。

振り付け指導はまごころホームの竹内先生にしてもらったのですが、あらかじめ振り付けを覚えてくれて子ども達に一生懸命教えてくれました。竹内先生は決してそういった演舞などが得意なわけではありません。でも子ども達といいものを作り上げたいという気持ちからいつも一生懸命にやってくれます。同じようにどの先生方も子ども達と同じ時間を共有して作り上げる事を大切に運動会までの日々を過ごしてくれました。



最後に、応援合戦の時に使う横断幕の題字を書いてくれた中3のRさんの事を伝えさせてください。運動会の2日前に私からRさんをお願いした時に「うん、いいよ」と即答してくれました。私は、その反応が少し意外で、というのも、Rさんはいつもニコニコしていて優しくて気づかなくてもできる子なのですが、同時に控えめな性格でもあるので、そんな直前に言われたら躊躇したり自信のない反応が返ってくると思っていたのです。そして、いざ書き始めると、ここでも迷いのない筆使いで、素晴らしい字を書いてくれました。また、筆で字がかすれてしまった所を、私とRさんがマジックで直していると、自然とまごころホームの中高生たちが1人2人と集まって手伝ってくれて、さらに素晴らしい横断幕に仕上げてくださいました。これまでとは違うRさんの前向きで積極的な一面や、それを間近で見っていた他の女の子達が「自分たちも横断幕の完成の一端を担いたい。」あるいは、「Rさんに続きたい。負けてられない。(これは私が勝手に思った部分)」と自発的に動き出してくれた事が嬉しくて、完成した力強い「届け!!このエール」の横断幕を見た時、胸がグワァーと熱くなるような気持ちになりました。私の中のやる気や勇気や活力が一気に湧き上がってきました。子ども達の手(エール)は本当にすごいです。「もし、この横断幕と扇子演舞のエールを目の当りにしたら、世界中のどんな人も力をもらえるな。絶対!」と、そこまで思

ってしまいました。

子ども達は本当に良い力をつけてきています。以前より変化していると思うのは、そのことを子ども達自身がちゃんと実感できていて、それをどんどん発揮(表現)し始めている事です。私の文章は、応援合戦の話に偏ってしまいましたが、この他にも子ども達の良い姿が沢山ありましたので引き続きご覧いただければと思います。

#### 第7回愛育園運動会



主任保育士 石崎早織

晴天の中先日第7回愛育園運動会が行われました。今年は昨年以上に関係者の皆様にもお越しいただき、子どもたちもやる気に満ちた気持ちで運動会に望むことができました。お忙しい中本当にありがとうございました。

さて今年も私は小学生の組体操を担当することになりました。石龍先生、金井先生も引き続き組体操の担当になり、去年の反省等を踏まえ今年はどうな組体操にしていこうか話し合いを行いました。去年の様子を振り返るとどの子どもも技を覚えるために一生懸命練習を重ねていた姿が印象的だったため、今年は少し難易度を上げた技にも挑戦したいという気持ちもありました。ただ今年も小学1年生が2人いたので、どこまで他の子どもたちと合わせることができるのか心配もありました。「〇日から組体操の練習を始めます!」と子どもたちに伝えると、早速どんな技をやるの?など楽しみな様子でたくさん聞きに来てくれた子が多く、子どもたちにとっても運動会がとても楽しみな行事になっているんだな~と思い私も嬉しくなりました。一人技から少しずつ難しい技に入り、こんなの出来ないよ、と言ったり技の土台よりも上に乗る方をやりたいと言ってくる子もいて、子どもの気持ちを一つにする難しさを感じましたが、練習すれば絶対にできるようになることや、組体操は土台の人の支えがあってこそ素晴らしい技が完成することなどを話しながらみんなの気持ち一つになるようにまとめていきました。今年も早めに練習をスタートさせたので、早い段階で完成するだろうと思っていましたが、実は全員が揃った状態で通し練習が出来たのは運動会の2日前でした。小学1年生の子は初めての組体操なので人前で発表することにとっても緊張して練習中たくさん泣く場面がありました。そのたびにホームの先生方の支えや、同じホームの子が声をかけてくれたことで、ようやく2日前に全員揃って通し練習をすることができたのです。みんなが一生懸命笛の指示を聞き技に取り組む姿勢を見てまだ本番でもないのに、涙が出てきました。子どもの頑張る姿は本当に感動します。これで本番もきっと大丈夫だ、とようやく安心しました。本番では見に来ていただいた方にかっこいい姿を見せようと練習以上に動きもよく、技も完璧にでき、みんなが満足のいく発表ができました。

終わった後みんなの表情を見るとやり切った!!といういい表情をしていました。こんなに達成感を感じられる行事はなかなかないので、やっぱり運動会っていいな・・・と改めて感じました。また小学生だけではなく、中高生の応援合戦も素晴らしいものができたと思います。今年も扇子演舞をやることになり、去年よりも少し難しくなりましたが、子どもたちのやる気は最初からすごかったです。まごころホームでは土日は最低でも1時間半みっちり練習をしました。練習よりも遊びたい!という意見が出てもおかしくないのに、早く覚えたい、次のパートをやりたい!など、とにかく前向きな姿勢に驚かされるほどでした。

みんなが前向きに全力で練習に取り組めたからこそ本番も素晴らしい発表ができたのだと思います。一生懸命頑張るって本当にいいことだと改めて思いました。少し心残りなのは赤組が優勝できなかったことです。前半までは赤組が少しリードしていたものの綱引き、竹引きとパワー系の競技に負けてしまい優勝を逃してしまいました。来年は優勝できるようにもっと作戦を練って運動会に臨みたいと思います。

10月は愛育園祭の行事があります。愛育園祭もみんなで心一つにし、良い行事になるよう頑張りたいと思います。

#### 『愛育園運動会』

まごころホーム 竹内早季

先日、第7回愛育園大運動会が行われました。今回の運動会にあたって、毎年恒例の中高生と職員による「応援合戦」のために、運動会3週間前から子どもたちと毎日練習を重ねてきました。扇子を使った演舞を行うことになり、応援合戦の担当になったので、まず子どもたちとの全体練習の前に振り付けを覚えるところから準備が始まりました。振り付けを覚えながら配置を相談しながら決め、全体練習で間違っただけを教えるわけにはいかないと思い、毎日必死でした。とても緊張して全体練習初日を迎えたのですが、子どもたちの練習の取り組みや表情を見ると、やる気にあふれていて、私自身も頑張ろうという気持ちが強まりました。そこから週3日の全体練習だけではなく、ほぼ毎晩各ホームで「自主練」があり、休日は1時間以上も練習をしました。どれも子どもたちは「やらされている」のではなく、「やりたい!」と前向きに練習に参加していて、とても楽しく練習ができました。また、今回配置を決めるときに、初めて先頭に立つ人が何人かいました。大丈夫かなと少し心配ではありましたが、照れながらも前向きに引き受けてくれたことがとても印象的でした。練習を通して、昨年よりも堂々と動いたり、大きな声を出したりと、何度も成長を感じる場面を見ることができてとてもうれしかったです。なかなか振り付けがそろわず、運動会直前は徹底的に修正を重ね、全員で本気で取り組んだおかげで、当日今までに無いくらい息の合った演舞を披露することができました。全員でやりきった時は涙が出るくらい達成感を感じました。こうやって何か一つのことをみんなで協力して成し遂げる経験はなかなかない

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

ので、本当に得難い貴重な経験だと思います。応援合戦はもちろん、どの競技でも子どもたちと声を掛け合い、喜んだり称えたりと、今年度も充実した運動会になりました。

#### 愛育園運動会

まごころホーム 宮澤穂香

今年も、第七回愛育園運動会が開催されました。去年に続き、中高生は扇子演舞に挑戦しました。去年よりも完成度の高いもの、よりよい演舞にしようと平日も、休みの日も、本当にたくさん練習しました。子どもたちの次を早く覚えたい気持ち、もっともっとやりたいという意欲がとても伝わってきました。私は今年も太鼓の演奏を任せていただいたので、子どもたちと気持ちをそろえるため、気合いを入れて練習に励みました。

運動会前、台風の接近により雨が続き、グラウンドや当日の天気がとても心配でした。ですが、日頃の様子を見ていてくれたのか、その日の太陽はみんなの味方をし、素晴らしい秋晴れの中、行なうことができました。

赤組白組それぞれの勝利の為、こどもたちも職員も全力で競技に取り組みました。勝ったときは大喜びし、感動を分かち合いました。小学生の組体操は、ダンスから始まり、1人技、2人技と、どんどん難易度が上がっていく中、次々と成功させる姿がありました。とても感動しました。中高生の扇子演舞では、不安があった中でしたが練習の時より揃っていて、みんなの心が一つになった感覚が味わえました。それも、当日まで一生懸命に練習をした成果なのではないかと思いました。やっぱり、子どもたちのここぞという時に決めるパワーはすごいなと思いました。私自身も力をもらい、これからも、もっともっと頑張っていこうと、そんな気持ちになりました。

今年の運動会も大成功でした！



#### 愛育園運動会

まごころホーム 中村彩乃

9月25日に第7回愛育園大運動会が行われました。台風が接近していて当日の天候が心配でしたが、そんな不安を吹き飛ばすような晴天でした。私は今回小学生の組体操の補助をやらせていただきました。初めての運動会だったため、上手くできるのか心配で緊張していましたが、学校から帰り、宿題に取り組み、精一杯組体操やダンスの練習に取り組む子どもたちを見て自分も頑張ろうと元気をもらいました。組体操の土台の人は重く痛い思いをすることが多いためあまり人気ではありません。子どもたちの中には「土台嫌だな」と弱音を吐く子もいました。しかし、職員に組体操において土台がないと始まらないこと、土台こそが組体操で一番大切であること伝えられると、そこからは一切文句を言うことなく一生懸命に練習に取り組んでいる姿を見て凄いな

(令和4年10月10日発行 月刊「円福」505号付録)

と思いました。ダンス練習では、振り付けが曖昧だからか、もしくは恥ずかしいからなのか子どもたち皆動きがダラダラして小さかったり、笑顔がなく、怖い顔をしていて終盤では何度も練習をしていました。本番は色んな人が見に来るから余計に緊張と恥ずかしさで最高のダンスができないのではないかとずっと不安でした。しかし、いざ本番になると皆笑顔で楽しそうにキビキビと踊っていてとても驚きました。ダンスは楽しく、組体操は真剣に行う姿を見て子どもたちの成長を感じつつ、私も成長させていただいた運動会でした。

#### 愛育園運動会

まごころホーム 遠藤あゆな

台風が近づいており、天気予報では、晴れるかどうか不安だった当日ですが、見事な秋晴れになりました。毎日学校から帰ってきて、宿題に取り組み、マラソン練習や応援練習、組体操等の練習を重ね着実に成長していく子どもたちと一緒に私も成長させていただきました。たくさん汗をかき、練習にたくさんの時間を費やした2週間で今回の大運動会のテーマでもある「全力×本気」を達成できたと思います。

その中でも、私が「全力×本気」を特に感じた子どもがいます。それはまごころホームの小3のY君です。Y君は特に目立つタイプでもないのですが、人一倍頑張り屋さんで、粘り強い姿をたくさん見せてくれました。弱音も吐かず、練習を真面目に取り組むその姿を見て、今まで気付かなかったY君の素敵なおところを見つけることが出来ました。

今回、私が特に素敵だと感じたのはY君でしたが、他の子どもたちも同じくらいに頑張る素敵な姿を毎日見せてくれました。きっとそれはみんなが「全力×本気」で大運動会に向き合った証拠だと思います。ただ楽しいだけじゃないたくさんの感動が詰まった愛育園の運動会、最高でした。

おもいやり 児童感想 あおぞらホーム

9月25日に第7回愛育園運動会をやりました。初めに短距離走をしました。自分は3位でした。次に玉入れをして赤組が勝利しました。台風の目をやりました。練習通りにやれてよかったです。次にマラソンや竹引き、綱引きをやりました。赤組と白組がすごい接戦になりました。そして応援合戦をやりました。自分は初めてで、初めにやった時は上手くいかない時があったけど、練習を重ねていくうちにだんだんと、みんなのレベルに追いつけて、自信が付きました。いよいよ本番で練習の成果を発揮して、応援合戦をやりました。やってみて自分は今までやってきた中で一番上手にできました。来賓の皆様も喜んでいただきとても嬉しかったです。今年も運動会で自分は、本気×全力を出せたと思います。以上です。心を燃やせ!!

(中1・K君)



9月25日に愛育園運動会がありました。朝早くに起きて会場準備をし、本番前ラストの導入と演舞の練習をしました。自分がセンターの導入とパート4で少し間違えてしまいましたが練習してきたことを出し切ろうと思いました。そしていよいよ運動会が始まりました。一番最初の種目の短距離走では一位になることができました。次に全員種目の玉入れをしました。練習の時には二試合とも負けてしまいましたが、本番では一勝することができました。次に新種目の台風の目をやりました。練習では上手に飛ぶことだったり回すことが出来なかったけど本番では練習の時よりは上手く言ったけど赤組に負けてしまいました。小学生の栄光の架橋のあとにパン食い競争をしました。二人で息をぴったり合わせて勝つことができました。次にマラソンをしました。練習より足が思った以上に動かなかったけど一位になることができました。その後少し休憩を挟んでから、小学生の組体操がありました。後ろから見ているととてもきれいでした。組体操が終わり、いよいよ自分たちの番がやってきました。あおぞらの導入はミスらずやることができました。最後のあぐらのポーズもビシッときめることができました。次の扇子では、パート4で少しミスってしまいましたが最後までやり切ることができました。次に綱引きをやりました。パワー系では勝てないと思いましたが見事勝つことができました。ただ腕の裏が痛くなってしまいました。次は竹引きをやりました。1・2回戦とも一人で竹を一本持つことができました。次は紅白リレーがありました。自分は白組の中学生男子代表で出場しました。自分はまけている状態でバトンを貰いましたが抜くことができました。そして勝つことができました。最後にオールスターリレーでは赤組に負けてしまいました。そして全種目が終わりいよいよ結果発表。今年は白

組 73 点赤組 65 点で勝つことができました。三週間やってきたことが出せたので良かったです。

(中 3・Y 君)

9月25日に、運動会がありました。今年も去年と一緒に赤組でした。今年思い出に残っているのは応援合戦です。応援合戦は、去年と一緒に扇子演舞をやりました。去年もやっていたのである程度は大丈夫でしたが、去年よりも少し難易度が上がりました。最初の練習では、全然分からなくて大変でした。僕はあまりこのような事が得意ではなく、覚えられるか不安でした。しかし、周りの人に教えてもらって、少しずつ覚えていくことができました。そして、覚えられた時に、導入の部分も覚えるよう言われてとても大変でした。導入は途中から覚え始めたので、さらに大変でした。けど、練習を繰り返していくうちに覚えられ、全体練習でもある程度踊ることができました。そして、運動会の前日準備の後の練習では、大声を出しながら踊って、大変だったけど自信を持てるようになりました。本番では、今まで以上にうまくできて、扇子もほとんどミスすることなくできて、とても良かったです。結果は、赤組が負けてしまいましたが、最後の運動

会を楽しめたので良かったです。次の愛育園祭も楽しめるよう頑張りたいです。

(高 3・N 君)

愛育園運動会 児童感想 まごころホーム

運動会のこと

組体そうがきれいにできたのと、台風の目が、楽しかったです。マラソンも、去年よりも早くなったのでうれしかったです。えいこうのかけはしが楽しかったです。パンもおいしかったです。今年は負けたので、来年は勝ちたいです。

(小 3・Y 君)

第 7 回愛育園大運動会

九月二十五日に山崎グラウンドで運動会をしました。六時半頃からグラウンドへ行き、トラックを作ったり、草取りをしたりして運動会の準備をしました。去年は雨で延期になってしまったけど、今年は、晴れて予定通り行うことができました。



私は、今年も赤組でした。八時位から入場行進をし、いろんな種目をしました。

私が、種目の中で心に残っているものは、マラソンと応援合戦とパンくい競争です。マラソンでは、石崎先生と T さんをぬかせるように走るというのを目標にしていたけど、ぬかすことができませんでした。けど、まごころの中高生の中で二位をとることができたのでよかったです。

応援合戦は、運動会の三週間前から練習をはじめて、練習のときは、全然大きな声を出すことができなかったけど、本番では、練習よりも大きな声で、本気で応援することができたのでよかったです。

パンくい競争では、二人三脚でパンをとる種目で、パンをとったと思ったら、おとしてしまったり、ゴール直前で止まってしまったけど一位になれたのでよかったです。

今年は、白組が優勝してしまい、悔しかったけど、来年は、白組になっても赤組になっても絶対に優勝したいし、マラソンでもまごころの中で一位をとれるように、練習から本気で頑張りたいです。

(中 3・M さん)

運動会

9月25日に運動会がありました。中高生は先に山崎グラウンドに行って準備をしました。タープを立てたり、草取りをするのを積極的にできたのでよかったです。8時から運動会が始まりました。最初の種目は短距離走でした。私は U さんと R さんと S さんと走りました。2位になりたか

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

ったけど3位で悔しかったです。でも本気で走れたのでよかったです。来年は2位になれるように頑張りたいです。

玉入れは前日練習のときに2回戦とも負けてしまったけど2回戦目で勝つことができ嬉しかったです。台風の目は初めての競技だったけど一生懸命できたのでよかったです。応援合戦では約3週間前からほぼ毎日何時間も練習していて、最初は振りを覚えるのが大変でよく間違えてしまったりしたけど、みんなで教え合いながらできたのでよかったです。本番では間違えずにできたり、声も全力で出してできたのでよかったです。慰労会の時に動画を見て、思った以上にきれいに出来ていてとても嬉しかったです。来年は最後なので今年以上に頑張りたいです。

マラソンでは練習よりもタイムが縮まっていてとても嬉しかったです。綱引きと竹引きでは2回戦とも勝つことができ嬉しかったです。紅白リレーに初めて出て赤組に勝つことができ嬉しかったです。最後のオールスターリレーでは赤組に負けてしまってとても悔しかったです。来年は勝ちたいです。72対65で白組が優勝することができてとても嬉しかったです。お弁当もとてもおいしかったです。そのあとの片づけも先生に聞きながらみんなと協力してスムーズに終わらすことができたのでよかったです。

来月には愛育園祭があるので普段の生活を一生懸命にやって準備もみんなと協力して積極的にやりたいです。

(高2・Aさん)

あおぞらホームだより

あおぞらホーム藤原京平

猛暑の夏が終わり、秋になり肌寒い時間もある季節になりました。子どもたちが長袖の服を着ている姿も見erようになってきました。寒暖差のある季節ではあるので、体調を崩さないように様子を見ていきたいと思います。

そんな中、9月には愛育園大運動会がありました。子どもたちも運動会に向け毎日のように練習に励み、運動会に臨みました。

当日も晴天の中、練習の成果を十分に発揮し、大人も子どもたちも一丸となった素晴らしい愛育園大運動会を作り上げることができました。

また、10月には愛育園祭が予定されています。こちら職員も子どもたちも一緒になって、みんなでより良い行事にしていけたらと思います。

まごころホームだより

まごころホーム 倉石朱莉

10月に入りましたが、まだまだ気温の高い日が続いています。ですが、子どもたちは相変わらず元気に過ごしています。中学三年生は総合テストもあり、より一層勉強に力を入れている姿

(令和4年10月10日発行 月刊「円福」505号付録)

が見受けられます。また、先月は愛育園運動会もあり、子どもたちは皆、勉強と運動会の練習を両立させようと頑張る姿も見られました。9月25日に行われた、愛育園運動会では前日までの雨が嘘のような晴天に恵まれ、無事に運動会を開催することができました。子どもたちは練習の成果を発揮し、とても素晴らしい運動会となりました。今月は愛育園祭が開催されます。準備等で忙しい日々となるかと思いますが、子どもたちはもちろんのこと職員同士でも協力し合いながら、運動会以上に素敵なイベントとなるように頑張っていきたいと思います。

調理室だより

栄養士兼調理員 内山さくら

9月25日、天気にも恵まれ愛育園大運動会が行われました。9月中は夕飯の前は小学生の組体操練習、夕飯の後は中高生の扇子演舞練習をしている音を調理室から聞いていました。今年はどうな演技を見せてくれるのだろうとワクワクして当日を迎えました。組体操では、笛の音で素早く動きピタッと止まる、メリハリのある演技で素晴らしかったです。扇子演舞では、時間差で動くパートが見事に揃っていてとてもカッコいい演技でした。

調理では、運動会の昼食用でお弁当を手作りしました。子どもたちが大好きなから揚げをメインに、おにぎり、ペペロンチーノ、ハム&チーズのミルフィーユ、ブロッコリー、ミニトマト、キャラクターかまぼこ、ぶどう、ゆで卵をお弁当に入れました。競技の間の休憩中に、子どもたちが今日のお弁当は何か？と覗き込んでいました。すると、「ぶどうが入っていた!」、「からあげ!」と口にする子がいて、お弁当を楽しみにしてくれているのだと思い、嬉しい気持ちになりました。これからも、日々の食事や手作り3時のおやつを食べて、健康にそして元気に毎日をごちそうしてほしいと思います。